

図書館だより

目次

「映画・ドラマが何倍も楽しくなる本」

考えるための教員推薦図書 …… 1～3

インフォメーション …………… 4



「映画・ドラマが何倍も楽しくなる本」考えるための教員推薦図書



前号に引き続き、「映画やドラマを見るときにこういう知識があると何倍も楽しく見られる」という本を「映画・ドラマが何倍も楽しくなる本」をテーマに先生方に興味深い本をご紹介します。本学図書館で借りることができますので、先生方のお話に興味を惹かれるものがありましたら、是非、手に取って読んでみてください。

国際学部 国際学科 徐映京 助教 推薦

(ドラマの紹介)

・「トッケビ」

今回私が紹介する作品は、現在と過去を行き来しながら繰り広げられるロマンスファンタジードラマ『トッケビ』です。

「トッケビ」とは、韓国の昔話に登場する、何にでも姿を変える不思議な怪物で、いたずらが大好きなお化けのことです。この作品の主人公であるキム・シン（コン・ユ）は、神様の力によって「不滅の命」を生きるトッケビとなってしまう、何百年も生きている存在です。彼の不滅の人生を終わらせるためには、人間のお嫁さんが必要です。そんな彼の前に突然ある日、自分が「トッケビのお嫁」だと主張する、本来は死ぬべき運命であった一人の少女が現れて物語が始まります。

・ドラマ『トッケビ』公式サイト <http://tokkebi.jp/>

(本の紹介)

・「トッケビ 上・下」シナリオ：キム・ウンスク

小説・ストーリーカルチャー：キム・スヨン

訳者：成都恵未 出版社：学研プラス



ドラマ『トッケビ』では、「扉」を自在に使った、時空間を超越する技がでます。作品での意味は様々ですが、世間では扉はよく「新たな始まり」の喩えに使われます。その意味で私たちは、進学や日常など人生の節目節目に扉を開いています。

請求記号：929.13/Kim/1
資料ID：901126433請求記号：929.13/Kim/2
資料ID：901126434

一方、新海誠監督のアニメ『すずめの戸締まり』は、主人公の少女・すずめが各地に開いた「扉」を閉めていくことで災いを封じ込めるストーリーで、「扉」は日常に災いをもたらすものとして扱われています。興味深いことに、新海監督は『トッケビ』に描かれた扉からこの着想を得たとも言われています。

このような対比から、私たちにとって「扉」とは「選択の岐路」というべきものでもあって、扉を開けたことで幸運が訪れるかもしれないけれど、逆に不幸を招くこともあり得ると考えられます。さらに言えば「扉」は、学校、サークル、アルバイト先、留学先…等々、日々の様々な場面に潜んでおり、私たちが日々遭遇する「扉」は、私たちにとって希望に満ちている反面、危うさを秘めたものでもあると言えるのではないのでしょうか。

今の皆さんにとっての間近な「扉」はどんなことでしょうか。韓国には、「시작이 반이다（始まりが半分だ）」という言葉があります。「どんなことでも始めたら半分は成し遂げたことになる」という意味です。また日本には「思い立ったが吉日」ということわざがあります。

みなさんにこの作品がぜひ扉を開ききっかけになってほしいです。

<着想を得た図書>

・小説すずめの戸締まり ISBN 9784041126790

・もしドラえものの「ひみつ道具」が実現したら ISBN 9784484102207



「映画・ドラマが何倍も楽しくなる本」考えるための教員推薦図書



応用心理学部 臨床心理学科 沢宮 容子 教授 推薦

「華氏451度 新訳版」著者：レイ・ブラッドベリ 訳者：伊藤典夫 出版社：早川書房



請求記号：933.7/Ray
資料ID：901119107

「華氏451」とは何？ ——本が読める自由と幸福——

フランソワ・トリュフォー監督の「華氏451」は、レイ・ブラッドベリによる同名のSF小説を映画化したもので、本の所持が違法とされる未来社会が舞台となっています。主人公はギー・モンタッグという消防士。集められた本を焼却することが彼の仕事です。しかし、ある出来事をきっかけに彼は本に興味を持ち、知識の重要性に気づきます。ギーは知識を求め、徐々に本の所持を禁じる社会に疑問を持つようになります。

「華氏451」とは華氏451度のこと。紙が燃え始める温度（摂氏232.78度に相当）です。物語の中で、ギーは451度の炎で本が焼かれることに抗い、知識を守るために立ち上がります。知識を守ることは自由を守ることにほかならない。彼はそのことに思い至ったのです。

「華氏451」は未来社会を舞台にした架空の物語です。しかし、そのテーマは現代社会にも通じる普遍性をもっています。与えられた情報を鵜呑みにしてはいけないこと。自分の頭で考え判断すべきこと。それがいかに大切なことかを教えてくれているのです。

この原稿を執筆するにあたり、レイ・ブラッドベリの小説とフランソワ・トリュフォー監督の映画を再読・再見たことで、作家・田辺聖子さんの「自分の好きなものを読む、という自由は何にも代えがたい」という言葉を思い出しました。本が読める自由と幸福に気づかせてくれる貴重な作品として、「華氏451」をお薦めする次第です。

【注】日本をはじめ世界的には温度を表す際に用いるのは摂氏が一般的となっていますが、アメリカなどヤード・ポンド法系の国では今でも華氏を使用されています。「華氏 (Fahrenheit)」という言葉は、ドイツ生まれのファーレンハイトの名前に由来し、中国語表記の最初の文字に敬称の「氏」をつけて「華氏」としたものです。一方、「摂氏 (Celsius)」はスウェーデンのセルシウスの名前にちなみ、同様に中国語表記の最初の文字に「氏」をつけて「摂氏」となりました。

応用心理学部 健康・スポーツ心理学科 川北 準人 教授 推薦

映画「SLAM DUNK」

「人を動かす！安西先生の言葉」（2022）著者：遠越段 出版社：綜合法令出版



請求記号：726.101/Tog
資料ID：901126650

学生の皆さんで「SLAM DUNK」を知らない人はいないでしょう！昭和の私にとっても、この漫画は正にバイブルであり、熱くさせてくれます。2022年には「THE FIRST SLAM DUNK」として映画となり、日本だけではなく海外でも高い評価を得ました。映画は、全国優勝常連の山王戦（“やまおう”ではありません笑）を、宮城リョータ目線で描いています。リョーちゃんの赤いリストバンドの意味がわかると泣けてきます。この物語の面白いところは、キャラクターの濃さで、それぞれが尖って表面に出てくるので見ている人を飽きさせません。“コーチ川北”としては、安西先生目線で見る人が多いです（昔は選手目線でしたが・・・）。その安西先生の言葉に注目した「人を動かす！安西先生の言葉」という本があります。この本は、読む人の立場によって解釈が変わるかもしれませんが、多くを語らない安西先生の言葉を深読みします。

あきらめたら、そこで試合終了ですよ

山王戦後半7分（当時は20分ハーフ）20点差ついたところで諦めかけている選手達に安西先生が語りかけます。この言葉で赤木達は奮起して、怒涛の追い上げを見せます。このシーンから学べるのは、コーチとしての「考え方」「伝え方」「導き方」です。コーチの原義は、「目標(ゴール)に連れて行くこと」です。安西先生は「言霊」を巧みに操れる天才ですが、その根底には揺るぎない「信念」があります。どんなに素晴らしい言葉でも「信念」なき人が発すれば、言霊にはなり得ない…読めば読むほど引き込まれる一冊です。

是非、映画&漫画と併せて読んで下さい！

映画を先に見るか、本を先に読むかは、あなた次第です！



「映画・ドラマが何倍も楽しくなる本」考えるための教員推薦図書



短期大学 幼児教育科 古橋 真紀子 准教授 推薦

「窓ぎわのトットちゃん」 著者：黒柳徹子 出版社：講談社



請求記号：916/Kur
資料 ID：901086829

映画の紹介

映画『窓ぎわのトットちゃん』公式サイト (tottochan-movie.jp)
<https://tottochan-movie.jp>

12月8日（金）から、「窓ぎわのトットちゃん」が初のアニメーション映画として公開されています。テレビでも宣伝されていますので気になっている学生さんもおられるのではないのでしょうか。

私も公開1週目に早速観てきました！ストーリーが分かっているけど心が動かされ、数回感動で涙があふれそうになりました。

今から約80年前、第二次世界大戦が終わる少し前の激動の時代を背景に、黒柳徹子さんの幼少期を自伝的に描いた本「窓ぎわのトットちゃん」は、落ち着きがないことを理由に小学校を退学になってしまったトットちゃんの、新しく通うことになった学校での日々が描かれた作品です。

私が初めて読んだのは小学生の時でした。

その後は、「トットちゃん！」（BSテレビ朝日）等、複数回ドラマ化される度にみて、子どもの時とはまた違う感じ方もしながら、その都度トットちゃんの愛らしさに癒されたり、突拍子もない発想に笑ったり…保育・教育にたずさわる大人として改めて考えさせられたりしてきました。

本は家にずっとあって、ときどきパラパラめくって読んでみることはあったものの、最初から最後まで通して読むのは30年ぶりくらいでしたが…今回、この図書館だよりの執筆を依頼されていたこともあり読み返しました。

子どもの視点で描かれているので子どもの時にも楽しく読みましたが、大人になって読んでも、子どもの気持ちになって楽しめる（子どもの気持ちを思い出せる）作品だと思いました。

また、ドラマや映画では描き切れない部分がたくさんあったことを思い出すとともに、私が目指していた“せんせい”像は、この本の影響を大きく受けていたのかもしれないと気づかされました。

あの時代に、まさに“インクルーシブ教育”!!

これからの時代に「子どもにたずさわる仕事」に就こうとしている学生さんに観て、読んで、考えてほしい、本当に面白い作品だと思います。

本が苦手な方でも大変読みやすい本ですが、映画を先に観ればより読みやすいかもしれません◎

先に本を読んでから映画を観るのもより感動できておすすめです☆

「窓ぎわのトットちゃん」 黒柳徹子 講談社 1981 請求記号: 916||Kur

黒柳徹子さんが自身の幼少期を描いた自伝的小説「窓ぎわのトットちゃん」は、現在までに全世界累計2500万部超、20以上の言語で翻訳と、まさに世界中で愛されているベストセラーです。

落ち着きがないことを理由に、小学校を退学になってしまったトットちゃん。新しく通うことになったトモ工学園の校長先生は、出会ったばかりのトットちゃんに「君は、ほんとうは、いい子なんだよ。」と優しく語りかけます。トットちゃんの元気いっぱい、すべてが初めてだらけの日々が描かれた感動作です。

Information

図書館ホームページのご案内

図書館のホームページのご案内をいたします。

<https://tokyoseitoku-opac.limedio.ricoh.co.jp/drupal/>

お知らせや新着案内、教員推薦図書などの様々な情報を発信しております。また、トップページに本学 OPAC の検索ボックスを設けておりますので、ダイレクトに蔵書検索ができます。

スマートフォンに最適化されたサイトもありますので、右の QR コードからアクセスしてください。



リクエスト制度について

授業の予習復習やレポート作成のときに使いたい資料がなくて困ったことはありませんか？

テレビや新聞などで見かけた本を読んでみたいと思ったことはありませんか？

そうした声にお応えするために、図書館では学生の皆様からリクエストを受け付けています。受付期間は4月から11月までとなっておりますので、今年度の受付は終了しましたが、来年度もたくさんのリクエストをお寄せくださいますようお願いしております。リクエストのある方は、図書館入口ゲート右手にあるリクエストポストに備え付けの用紙に記入して投函してください。

実習中の長期貸出について

保育・教育実習などのために通常の期間より長く資料を借りたい場合、長期貸出を行っております。ご希望の方は、貸出手続き時にお申し出ください。貸出期間は、**実習開始日の1週間前から実習終了日の1週間後まで**となります。

但し、長期貸出を受けた資料は貸出期間の延長をすることができません。

卒業予定者および大学院修了予定者の方へ

2024年3月に卒業・修了予定の方の最終返却日は**2024年2月29日(木)**となります。返却忘れのないようにお気を付けください。



開館スケジュール

* 変更される場合があります。HP や掲示板をご確認下さい。

9:00~20:00							9:00~14:00							9:00~17:00							休館						
1月							2月							3月													
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日							
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4					1	2	3							
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	4	5	6	7	8	9	10							
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	11	12	13	14	15	16	17							
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	18	19	20	21	22	23	24							
29	30	31					26	27	28	29				25	26	27	28	29	30	31							